

大学カリキュラム

今年度のテーマは、「生老病死、生涯現役」です。さまざまな福祉の取り組みや思いを感じて、活動へ一歩踏み出してもらおうきっかけになるような講座を開きます。

◎ 第1講座

📅 8/26(木) 14:00~16:00(13:30 入学式)

写真が語るいのちのバトンリレー

講師：國森康弘さん(写真家・ジャーナリスト)
死を見据えて「どう生きるのか」。写真家だからこそ魅せられる、いろいろな人の生きざまを感じましょう。



國森康弘さん

◎ 第2講座

📅 9/16(木) 14:00~16:00

地域福祉活動の良さ・生きがいづくり

パネリスト

白井忠夫さん(草津市福祉教養大学院生)
富板至子さん(ボランティア活動者)
奥田隆三さん(地域サロン活動者)

コーディネーター

奥村嘉英さん(市社会福祉協議会 常務理事)

活動者の想いを知り、活動者を身近に感じてみませんか。「生涯現役」「ボランティア活動の楽しさ」を聞き、人とのつながりや仲間の大切さ、活動の魅力を発見してみましょう。



◎ 第3講座(オープンキャンパス)

📅 10/9(土) 14:00~16:00

今だからこそ大切にしたいこと

講師：里みちこさん(詩人)

昨年、市社会福祉協議会の“まごころ便”に協力していただきました。コロナ禍でつながりが希薄化している今だからこそ、「文字」「ことば」から伝わる大切なことを感じましょう。



里みちこさん

※第3講座のみの受講も受け付けています

◎ 第4講座

📅 11/11(木) 14:00~16:00

1部 地域共生社会の実現に向けた思い

講師：厚生労働省 社会・援護局 職員

2部 健幸に生き抜く力

講師：浜本徹さん(浜本内科医院院長)

自分が、みんなが、心も体も元気で暮らしていくにはどうしたら良いでしょう。多職種連携と健幸の意味を知ることができます。



浜本徹さん

◎ 第5講座

📅 来年2/10(木) 14:00~16:00

老いを支える医師から見た人生観

講師

小熊哲也さん(おぐまファミリークリニック院長)

コーディネーター

小枝美代子さん(草津市老人クラブ連合会事務局)

「医師」として在宅医療をどのように受け止めているのか。病から生き方・活き方を感じましょう。



小熊哲也さん

◎ 卒業式など

📅 3/18(金) 14:00~16:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座が中止になる場合があります。中止の場合は、市社会福祉協議会ホームページで掲載する他、受講申込者には文書で案内します。

仲間と一緒に学びませんか？

所 キラリエ草津(大路二、6階) ※第3講座のみ、市民交流プラザ(野路一、フェリエ南草津5階)

対 地域で福祉活動をしたいと思っている人で、原則5講座全てを受講できる人

定 50人(先着順) ¥ 1講座 500円

他 申込書は、市社会福祉協議会の窓口やホームページ、各まちづくりセンターや健康福祉政策課にあります

申 7月5日(月)~30日(金)に、申込書を書いて、直接か電話、ファクス、Eメールで

申・問 市社会福祉協議会(大路二、キラリエ草津内) ☎562-0084、☎566-0377、✉info@kusa-shakyo.or.jp



市社会福祉協議会のホームページはこちら



草津市福祉教養大学

問 健康福祉政策課(2階) ☎561-2360、☎561-2482

市社会福祉協議会(大路二、キラリエ草津内) ☎562-0084、☎566-0377

現在、少子高齢化の進展とともに、核家族や一人暮らし高齢者が増え、ライフスタイルもさまざまになる中で、個人が抱える生活課題も多種多様となっています。これらに対応するには、個人の努力や行政による福祉サービスだけでは十分ではなく、地域住民一人一人が支え合いながら安心して暮らすことができる「地域共生社会の実現」をめざしていくことが求められています。今私たちは何をしたら良いのか、どう生きていくべきかを一緒に考えましょう。

— 草津市福祉教養大学ってどんなことをするの? —

1 多様な講師陣から学ぶ

福祉の分野だけでなく、多様な分野で活躍している講師の話聞くことで、いろいろな視点から福祉を感じてください。

「福祉って大変…」と思っている、あなたにこそ聞いてほしい講座ばかりです。



2 共に学ぶ仲間ができる

隣の席には、「講座を受講してみよう」と同じ思いを持った仲間がいます。今年度も仲間同士で交流できる場を設けます。



3 5講座受講で卒業証書を授与

草津市福祉教養大学は、今までに開講した講座のうち、合計5講座を受講することで卒業できます。卒業式で卒業証書を授与します。



4 卒業後も活動をサポート

卒業生は、次年度に「大学院」に進学できます。大学院では、教養大学での学びを生かし、さらに一歩を踏み出すため、具体的な活動を体験し、感じている思いを叶えていけるよう支援します。



受講生の声

講師の話から、人は一人では生きていけないと改めて感じました。地域のつながりの素晴らしさを感じました。

実際に地域で活動している人から、地域活動の楽しさや悩みを聞いて参考になりました。

地域で活動している講師のコロナ禍での話を聞いて、今自分ができることを見つけて実践していかなければいけないと思いました。無理をせず一歩一歩進んで活動していこうと思います。

地域共生社会の実現には多様な人の認知が必要だと感じました。我が事・丸ごと、できることを、頑張らず続ける事が大事だと学びました。

